

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		スポーツ実習 I A [テニス] Sports I A [Tennis]				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 檜 智子	
群	健康・スポーツ科目群			分野(分類)	スポーツ実習			使用言語	日本語
旧群	D群	単位数	1単位	週コマ数	1コマ	授業形態	実習 (対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	月1/月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
テニスは生涯スポーツとしても大変人気のある種目である。 生涯にわたって楽しめるテニスの技術の習得および向上とルールやマナーの理解を深め、テニスの特性を理解すると共にテニスを通じ各自の健康の保持・増進を図ることを目的とする。 ※受講者は、経験者であることが望ましいが、初心者も可。(ただし、受講メンバーの人数とスキルレベルによって変更も有り得る)									
[到達目標]									
テニスを初めて体験する初心者および初級者に関しては、グランドストロークを中心にそれぞれのスキルを習得し、ラリーやダブルスの試合が楽しめるレベルに到達することを目標とする。 テニス経験者(ソフトテニスを含む)に関しては、それぞれのスキルのレベルアップやコントロールに重点を置き、積極的に活動できる能力を養う。									
[授業計画と内容]									
前期は、技術力の向上を図るための技術練習を「基礎⇒発展⇒応用」の段階別ドリルで実施する。 尚、受講の際には、テニスシューズおよびスポーツウェアを必ず着用のこと。それ以外での受講は一斉認めない。 また、コートが使用できない状況(雨天等)の場合は、場所を変更し、教室でDVDを使用した授業・課題等を実施する。 《内容》 第1週＝ガイダンスおよび予備登録 第2～5週＝グランドストローク(基本練習およびスキルチェック) 第6～8週＝ボレー、スマッシュ&ロブ(基本練習およびスキルチェック) 第9～10週＝サーブ&リターン(基本練習およびスキルチェック) 第11週以降＝簡易ゲーム(ハーフコートマッチ等)、ダブルス試合									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
評価方法は、平常点(出席状況・活動状況)・スキル点・ゲーム点(雨天時は課題点)を総合的に判断する。なお、授業開始から20分までを遅刻とし、3回で1回の欠席扱いとする。見学・早退は2分の1の出席扱い、20分超の遅刻は欠席扱いとする。 第2週～フィードバックまでの間で、10回以上の出席を課す。									
-----スポーツ実習 I A [テニス] (2)へ続く↓↓↓									

スポーツ実習ⅠA [テニス] (2)

[教科書]

使用しない

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に指示する。

[その他（オフィスアワー等）]

※履修者数が定員を超えた場合は、予備登録日に出席した指定クラスの学生を優先するが、テニス経験・スキルレベルで履修制限を掛けることもあり得る。

※履修に際し、「スポーツウェアおよびテニスシューズの着用」を義務付ける。

※雨天時やコート状況が悪く実技の実施が不可能な場合は、KULASISで教室変更を連絡する(授業開始15分前を目処に)ので確認すること。

学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ加入しておくこと。